一般質問

一般質問は８月31日、９月１日、２日、３日の４日間行われ、13名の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨を掲載します。　（文責は質問議員）

佐藤憲弘議員	①申請主義の見直しによる住民サービスの向上について②スポーツ合宿の受入環境整備について③飲食料品に係る消費税率引下げに伴う市内飲食店への支援について
山崎長栄議員	①「社会福祉法等の一部を改正する法律」について②防災・減災、国土強靭化のための５ヵ年加速化対策と中期計画について
菊池秀明議員	国勢調査速報結果の人口減少について
工藤聡一郎議員	①地域おこし協力隊のコンプライアンス確保と不測の事態への対応について②教職員による不祥事から児童生徒を守る体制について③子どもの地域活動・体験活動を通じた地域づくりについて
井筒健太郎議員	①防災行政について②観光行政について③教育行政について
佐々木義昭議員	①人事評価について②ハラスメント調査について③公共施設等総合管理計画について
細田孝子議員	①行政改革大綱について②健康福祉行政について③教育行政について
高橋松一議員	①コンパクトなまちづくりについて②釜石市建築系公共施設等個別施設管理計画について③空き家対策の進捗状況と空き地の活用について④自主防災組織の現状についてとアーカイヴの記録集の存在について⑤水産振興について
磯崎翔太議員	①生活応援センターについて②平和の取組について
菊地広隆議員	①学校規模適正化・適正配置と学校再編について②社会減対策とコンパクトシティー政策における西地区の拠点形成について
古川愛明議員	①総務企画行政について②産業振興行政について③保健福祉行政について
村田信之議員	①「かまいし本のまちプロジェクト」について②ゼロカーボンシティ推進について③「地域の人事部」について
深澤秋子議員	①保健福祉行政について②防災行政について

補助金の申請漏れをなくすには 法令を確認し改善に努める



佐藤憲弘
（民政クラブ）

議員　各種補助金の対象になるお知らせなど、申請漏れをなくす検討は。

市民課長　関係課と情報共有・連携を深め、補助制度についても、各種手続き支援を周知する仕組みの拡充、行政サービス向上に努める。

議員　マイナンバーカードの活用と個人情報取り扱いの同意を必須に、プッシュ型支援を進める考えは。

副市長　法令の定めでできることとできないことがある。そういった点を整理し、改善できるものはすぐに着手し、改善に努める。

議員　ワンストップ実施の際には、複数の手続が予想される申請者のもとに、タブレット端末等を職員が持参し対応する、ワンストップ窓口については。

市民課長　現在の窓口システムが切替時期であり、今後使用するシステムについて検討している。市民の皆様の利便性向上と負担軽減、市民目線に立った姿勢が最も重要と考えている。タブレット端末の活用は効果的と考え、窓口システム検討の参考にする。

議員　窓口ＢＰＲアドバイザー制度の活用は。

ＤＸ推進室長　新市庁舎における窓口業務の運用状況を踏まえながら担当課と業務の整理や見直しを進め、近隣自治体の活用事例を参考としながら、窓口ＢＰＲアドバイザー派遣事業を含めた国の支援制度の活用について調査研究する。



書かない窓口の一歩先へ

ＢＰＲアドバイザー…デジタル庁が推進する自治体窓口ＤＸ（書かないワンストップ窓口）の実現を、業務改革（ＢＰＲ）の知見を生かして支援する地方自治体職員等の専門家。